

組() 番号() 名前()

点

まず、実存主義であるが、実存主義にとって重要なことは、世界や人間をいかに解釈するかということではなくて、今ここにいる現実の存在たる私が、いかに生きるかが問題なのであり、主体的に生きぬくことを離れて思索ということは無意味であるという。したがって、(1)このような主体的、実践的な立場にとって、自由の概念は、その思想の中心的意義をもつ概念と考えられるのである。

実存主義に属する思想家の一人ヤスパースの考えによると、哲学の根本性格は、(2)「挫折を通じて超越すること」にある。つまり、对象的にせよ主体的にせよ、われわれの思索は、必ず、何らかの限界にぶつかって難破してしまう。しかし、この難破を通じて、実は、より広い深い地平が開かれてくるのである。そして、このような挫折を通じての超越は、言葉を換えて言えば、主体的な思索であり、実存的自由であるともいえる。

設問1 下線部(1)の内容は具体的に何か、日本語で説明しなさい。

設問2 下線部(2)の内容は具体的に何か、日本語で説明しなさい。

「実存主義なんか知らない」≠「僕はこの問題が解けない」